

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道254号和光富士見バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 埼玉県											
<b>起終点</b> 自：埼玉県和光市新倉 至：埼玉県富士見市前新田		<b>延長</b> 6.9km											
<b>事業概要</b> 一般国道254号は、東京都文京区を起点とし、長野県松本市に至る延長約284kmの幹線道路である。和光富士見バイパスは、現道の交通混雑の緩和と、東京外かく環状道路・和光北ICへのアクセス強化を目的とした、延長6.9kmの6車線道路である。													
S59年度事業化	S55年度都市計画決定	S59年度用地着手	H3年度工事着手										
<b>全体事業費</b> 1,000億円		<b>事業進捗率</b> 28%											
<b>計画交通量</b> 80,000台/日		<b>供用済延長</b> 0.6km											
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 4.8	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 609/892億円 (事業費：599/882億円 維持管理費：10/10億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 4313/4313億円 (走行時間短縮便益：4160/4160億円 走行費用減少便益：153/153億円 交通事故減少便益：0/0億円)										
	(残事業) 7.1		<b>基準年</b> 平成15年										
<b>事業の効果等</b> ・災害への備え（緊急輸送道路として位置づけあり） ・安全で安心できる暮らしの確保（3次医療施設である防衛医科大学へのアクセス向上） 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）													
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 和光富士見バイパスは交通混雑緩和と、外かん・和光北ICへのアクセス強化が期待されており、志木市をはじめとする関係5市1町で構成される、一般国道254号和光川越間バイパス建設促進既成同盟会により早期整備の要望（H15年9月1日）を受けている。													
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 終点和光市部分において、外かん道が開通したことによる交通量の増加で、早期の整備が望まれる。													
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 重点区間を定め整備を進めている。													
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 重点区間の用地買収もほぼ完了している事から、早期の供用開始に向けて工事を進める。													
<b>施設の構造や工法の変更等</b>													
<b>対応方針</b> 事業継続													
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
<b>事業概要図</b>													
和光富士見バイパス L=6,850m													
<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>■</td><td>供 用 中</td></tr> <tr><td>■</td><td>事 業 中</td></tr> <tr><td>■</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>■</td><td>うち供用中</td></tr> </table>				凡 例		■	供 用 中	■	事 業 中	■	再評価箇所	■	うち供用中
凡 例													
■	供 用 中												
■	事 業 中												
■	再評価箇所												
■	うち供用中												

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。